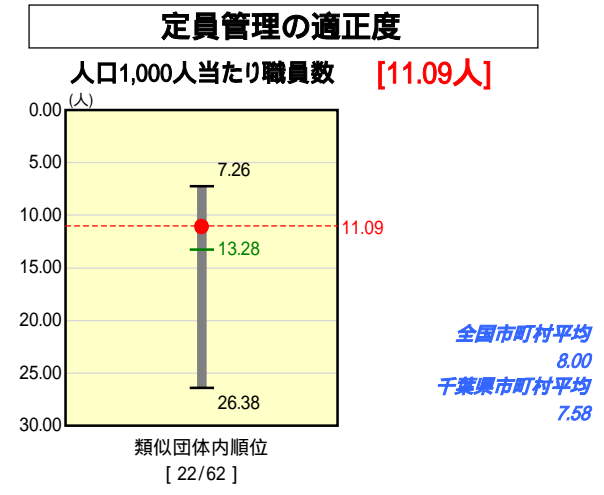
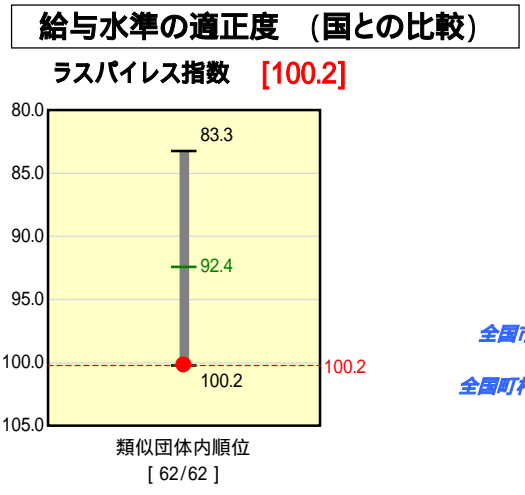
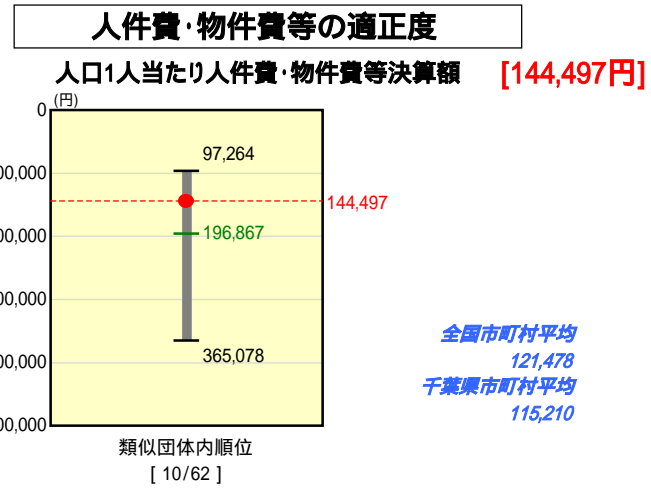
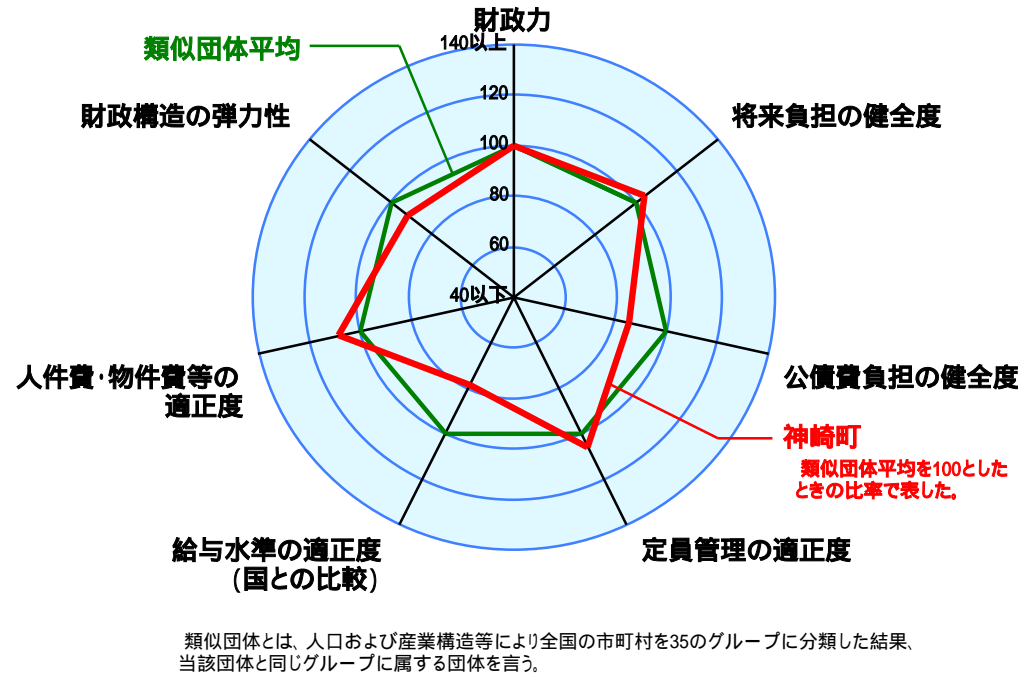
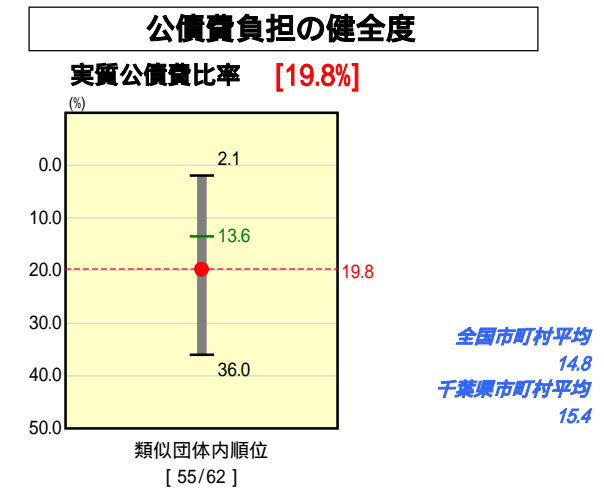
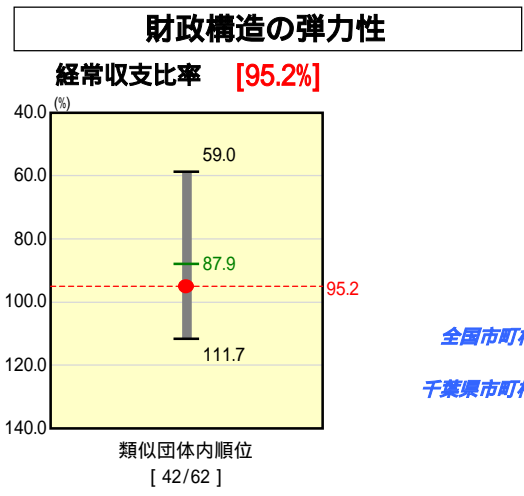
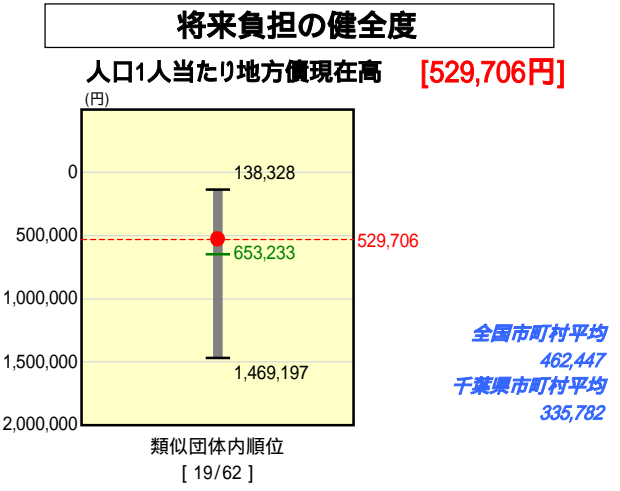
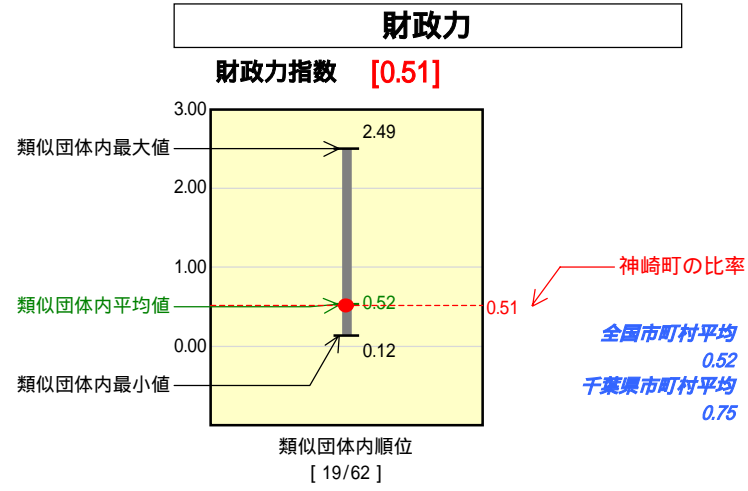


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

千葉県 神崎町

| | | |
|------|-----------|-----------------|
| 人口 | 6,761 | 人(H18.3.31現在) |
| 面積 | 19.85 | km ² |
| 歳入総額 | 2,466,123 | 千円 |
| 歳出総額 | 2,347,879 | 千円 |
| 実質収支 | 118,244 | 千円 |



分析欄

(財政力指数)
ここ数年は、わずかではあるが連続した伸びを見せており、類似団体内平均値程度の0.51となっている。税徴収率については、今後も高い水準を維持するとともに、「集中改革プラン」による歳出削減を実施し、財政の健全化を図る。

(経常収支比率)
平成14年度から大規模事業に伴う公債費が増加したため、比率が急激に高くなっている(H13:88.5% H14:94.2%)。人件費や物件費等の経常経費の削減を図っているが、公債費が大きいため追いつかない状態であり、類似団体を上回っている。今後も起債の抑制による公債費の減と、人件費については「集中改革プラン」に掲げたとおり、新規採用の抑制による職員数の減(5人)等により、義務的経費の削減に努める。なお、人件費については平成18年度で職員給与の平均2.9%の削減と、議員定数の削減(16人 10人)等を実施している。

(実質公債費比率)
ふれあいプラザ建設事業(H10年度～13年度)や下総神崎駅前周辺整備事業(平成9年度～15年度)に伴う起債の償還により、平成15年度から急激に高くなり、平均を上回る19.8%となっている。平成19年度をピークとして平成24年度までは高い状態が続くが、平成25年度以降は急激に起債の償還が減るため、平成24年度までは投資事業による新規地方債発行の抑制を図る。

(人口1人当たり地方債現在高)
類似団体平均を下回ってはいるが、平成10年度から13年度にかけて実施した「ふれあいプラザ建設事業」(起債額:13億7千万円)と平成9年度から15年度にかけて実施した「下総神崎駅前周辺整備事業」(起債額:4億7千万円)により全国及び県市町村平均を上回っている。これらの事業に係る起債の償還がほぼ完了する平成24年度までは、新規地方債の発行を抑制する。

(ラスパイレズ指数)
旧来からの給与体系により類似団体を上回る100.2となっている。全国的にも高水準にあるため、平成18年度は職員の給与カット(号給により1%から6%(平均2.9%))を実施し給与の適正化に努めた。

(人口1,000人当たりの職員数)
過去からの新規採用抑制により類似団体を下回っているが、職員数については平成17年度から平成21年度までの5年間で5.7%(5人)の削減を目標とする。

(人口1人当たり人件費・物件費等の決算額)
類似団体と比較して、人件費・物件費等の決算額が低くなっている要因として、退職による職員の不補充や、各種報酬の削減による人件費の削減と、物件費については、委託料や需用費等の大幅な削減を実施したことが挙げられる。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。